

会報

国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

第12号 2011年5月10日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局
〒千葉市中央区要町2-8 D.C.会館内
TEL 043-222-7207
nationwidemovement@yahoo.co.jp

被災地と全国の怒りを集め 解雇・原発と闘う労働運動を

国鉄闘争6・5集会へ



4月30日、首都圏在住の呼びかけ人会議と6・5集会第2回実行委員会が開催されました。本号では実行委員会での動労千葉・田中康宏委員長の提起を掲載します。

6・5へ大結集を！

今日の午後、首都圏の呼びかけ人が集まって震災以後2回目の会議を開催しました。その内容を簡単に一言でいうと、呼びかけ人の方々も含めて、この状況の中で本当に労働運動を甦らせることにすべてを賭けようという熱い思いで一致したということです。

鎌倉孝夫さんが言っていた

これは、これから始まるのはさらに徹底した新自由主義攻撃以外にないということ。これと闘わなければいけない。伊藤晃さんは、この間の労働運動の経験に踏まえながら、徹底的に職場の団結を形成することにこだわらなきゃいけないと言っています。金元重さんは、今度の6・5集会で、全国運動がこの1年間でつくり上げたもの、これがどういう意味で全労働者の課題なのかということ、この情勢をどう見るのかということ、この共同のアピールにして発表したいと言っていました。

震災下での国鉄闘争

その上で今日は国鉄闘争の問題に重きをおいて、この情勢下での国鉄闘争とは何かについて話をしたいと思っています。僕はずっと考えていて、この大震災以降、日々情勢が変わり、僕たちの手なんか離れたところから、あらゆるところから怒りの声が噴出している状況がある。何より原発という問題が労働者のみならずすべての人びとの気持ちを日々揺り動かしています。被災地のみならず、全国規模で何十万人という労働者が解雇され、職を失う状況の中で、国鉄闘争全国運動が核心なんだと押し上げることは容易ではないと思っと思っています。

ただどうと考えると、これだけ、核心問題はこなんだと思っっています。国鉄分割・民営化の問題と対決できなかったら震災以降の情勢に対決できるはずはない。ここから労働組合を、労働運動を甦らせていくっていうことに徹したいと思っっています。その土台が全国各地、職場に

新自由主義の30年

いま全国いたるところで怒りの声、憤りの声が噴出しています。反原発のデモに青年たちが集まっている。その根本にあるのは新自由主義に対する怒りです。本人たちはそんな難しい言

国鉄分割・民営化絶対反対！ 1047名解雇撤回！
新自由主義・震災解雇と闘う反失業大闘争を！

国鉄闘争全国運動6・5大集会

6月5日(日)午後1時(正午開場)
東京・日比谷公会堂(千代田区日比谷公園)
主催・国鉄闘争全国運動

葉で状況を見ているわけじゃない。しかし、明確に新自由主義がぶちこわしたこの30年間に對する怒りの噴出なんですよ。これをぶちこわし返すのは、労働運動が復権する以外にないってことです。そうした時に僕たちがもう一回見なきゃいけないことは新自由主義の30年間ということなんです。これは国鉄分割・民営化から始まった30年間でもありません。雇用が破壊され非正規になり、労働組合が破壊され、社会全体が破壊されてきた。大震災が起きる前にすでに怒りは臨界点だったってね。そういうふうに見ていくと、あらためて国鉄分割・民営化

裏面へつづく

闘いなくして安全なし

尼崎事故から6年 現地で集会とデモ

4月23日、尼崎事故弾劾闘争を国鉄闘争全国運動・関西(準備会)が呼びかけて開きました。動労千葉とともに今年、全日建運輸連帯労組・関西地区生コン支部と全国金属機械労組・港合同、それに関西で闘う労働組合を加えた4労組で組織する

会)が呼びかけに加わり、大きな陣形で開かれました。闘う労働組合を軸にした労働運動路線で闘いとられました。

3・11大震災をうけ、すべての勢力が「震災自粛」に走り、尼崎事故弾劾闘争を放棄するなか、唯一私たちが「津波災害も原発事故も、営利優先・安全無

視の新自由主義がもたらしたものだ」「尼崎事故も原因は同じだ」「震災解雇を許すな」と訴えました。

尼崎駅頭をはじめ阪神沿線で多くの青年労働者の共感を勝ち取り、激しい雨を突いて350名の結集で、事故現場までデモを貫徹しました。

集会では、4月7日に起こった米子支社・後藤車両所の天井クレーンによる下請け関連労働者の死亡災害を、当該職場の国労の仲間が怒りをこめて弾劾しました。

JR西日本が尼崎事故を全く反省せず、安全無視・業務優先で外注化を進めていることが突き出され、あらためて「反合理化・運転保安闘争」を自らの職場から巻き起こしていくことこそが尼崎事故闘争を闘うことだと、全参加者の胸に強く刻まれました。(投稿・国労近畿地本兵庫保線分会 富田益行)

1047名解雇撤回 裁判闘争勝利へ



JRと東電の代理人は同じ弁護士!

鉄道運輸機構訴訟で徹底弾効

(鉄道運輸機構訴訟原告／
国労秋田闘争団・小玉忠憲)
4月26日、東京高裁101
号大法廷で鉄道運輸機構訴訟再
開第三回の控訴審(民事第14部
設楽隆一裁判長)が開かれ、裁
判長交代に伴う原告側更新意見

と、双方の代理人による弁論が
行われました。
更新意見陳述ではまず、「旧
動労革マルが(国鉄分割・民営
化に反対して闘う労働者を『採
用するな』と杉浦喬・国鉄総裁
にねじ込んだこと、それを受
けて「秘密裏に運用基準なるも
のを策定」し、「膨大な定員割
れにもかかわらず約80名を採用
名簿から削除した」事実など、
不当労働行為の具体的実行過程
を語りこめて突きつけました。
さらに「和解に応じ、訴訟を
取り下げた旧原告は今、わずか
な解決金を配分されただけで、
路頭に放り出された状況」であ
り、3月11日の大震災と原発

動労千葉鉄建公団訴訟へ

動労千葉の鉄建公団訴訟が5
月18日午後1時30分から東京地
裁で行われます。動労千葉鉄建
公団訴訟は、04年12月の提訴以
降、6年以上にわたり国鉄―
清算事業団―鉄道運輸機構に
よる採用差別の不当労働行為
特に「不採用基準」について徹
底的に追及してきました。
その結果、09年12月に行われ
た伊藤嘉道証人(当時・国鉄職
員局長補佐)の証言の中で、
動労千葉12人を含めて本州で
「不採用基準」により不採用に
なった労働者が、直前まで採用

政府・鉄連・JRを擁護してき
た西法律事務所(西・向井・富
田)代理人が、なんと、福島原
発運転差止めやMOX燃料使
用差し止め訴訟に対して、東電
の代理人としても立ちふるまっ
てきた犯罪的事実」を指摘し、
その欺瞞性や極悪性・腐敗極ま
る非人間性等について、被災地
住民の生死をかけた叫びを代表
し、裁判所・極悪代理人ら全責
任者を「一人残らず監獄にぶち
こまなければなりません!」と
言い切りました。
5月9日午前9時頃の民放
TVで、福島第一原発で現在働
いている下請け作業員のインタ
ビューがあり、「自分らにはホー

とされた「停職処分」そのもの
の無効を争うことは当然です。
今回の決定は、証人調べ終了後
にただちに結審しようという反
動的意図があることは間違いあ
りません。
3・11の大地震以降、震災を
口実とした解雇や雇止めが全
国で始まっています。こうした
中で、動労千葉が1047名解
雇撤回の旗を守り抜いて闘って
いることへの政治的反動攻撃と
して今回の決定がなされたので
す。次回結審を許さず、勝利に
向け闘いましょう。次回公判へ
の大結集を訴えます。

支援する会・北陸を結成

4月24日、「動労千葉を支援
する会・北陸」の結成集会を勝
ち取りました。
大震災情勢の中で、動労千葉
を支援する会・北陸を結成した
ことは重要です。集会では国鉄
1047名解雇の当該である動
労千葉の中村仁さんに特別講演
を行っていただきました。中村
さんは、国鉄分割・民営化当時
の青年労働者の生々しい怒りや
葛藤を語り、その中でいかに団
結をつくってきたか、また平成
採の北嶋君のストが青年の心を
打ち、外注化反対が青年全体の
ものになり、外注化を阻止した
勝利を語ってくださいました。
質疑応答では、職場で闘いを
つくり出すための論議や、動労
千葉の義理・人情の考え方に
ついて議論しました。また「挙国
一致」「政治休戦」と言われて
いることは、実際には資本家階
級による労働者階級への攻撃で
あり、リストラ、賃下げ、非正
規雇用化の攻撃であることが論
議されました。



全体を通して、震災下の闘い
の土台としてあらためて国鉄闘
争全国運動の発展が重要である
ことが確認されました。
「支援する会」の結成をもっ
て、私たち北陸の労働者も大失
業時代と対決する労働運動を大
きくつくりだしていきたいと思います。
(投稿)

表面からのつつき

ついでいろいろなことを言っ
て何も始まらない。ここが6・5
集会の核心的なところだと思
います。

国鉄闘争全国運動に僕らが賭
けたものというのは、いま大震
災以降の情勢の中で、僕らが直
面している問題そのものだとい
うことをもう一回再確認してほ
しいと思います。

大失業との闘い

そしてもう一点、大震災前か
らおきていた国鉄方式による労

働者に対する全面攻撃、解雇と
いう問題、これがどう進むのか
ということ、これももう一回真
正面から見据えないといけない
だろうと思います。

東電の労働者は2割賃金カッ
ト。もうすでに公務員の賃金
カットが論議されているじゃな
いですか。大震災の結果起きる
ことは全面的な外注化と民営化
です。膨大な非正規化です。よ
国鉄分割・民営化以来、本場に
僕たちは悔しい思いをしきま
した。労働運動の後退を止めら
れなかった。

ただ、われわれはみなさん
に足をつけて、僕らの持てる力

次回結審許すな!
5・18動労千葉鉄建公団訴訟
午後1時30分から 東京地裁527号法廷
(午前11時30分 日比谷公園霞門集合)

の力と一緒にって階級的労働
運動を復権させるための皆(と
り)で、はつくつてきた。この
皆はなかなか増えなかったけれ
ども、だれこれからはそれが
できる可能性が目の前にありま
す。つまりすべてはわれわれ次
第ということ。われわれが
無数の怒りと本場に結びつくこ
とができるかどうか、そういう
ことが始まるんだらうと思いま
す。
6・5集会の成功に向けては、
こういう情勢であればあるほ
ど、本場に地に足をつけて職場
に足をつけて、僕らの持てる力

を全部発揮するということが基
本になるだらうと思えます。も
う一回、こういう情勢を打ち破
りたい。こういう情勢を打ち破
れる力は現場の、地域の労働者
の団結した力以外にはないんだ
ということ。この当たり前の原
則を確認したいと思えます。
被災地はもとより、全国で間
違ひなく労働者の気持ちに変化
が生まれている。大きくはこん
な社会を変えなきゃならない
ということにいいよ労働者の
意識が向いています。しかも職
場では、危機に立った資本の攻
撃に労働者全体がさらされる。

矛盾は山ほど起きる。その矛盾
が具体的に団結する方針になっ
て、形になって。そうした時に
労働組合が生まれる、甦るわけ
じゃないですか。これをどうつ
くるのか。これは理屈じゃいか
ないよね。飛び込んでそこで悪
戦苦闘する以外にない。
そして6・5集会は、福島と
か仙台とから大挙して来てほ
しいよね。そしてたとえば日航
でクビを切られた労働者、社保
庁でクビを切られた労働者、郵
政でクビを切られた非正規の
仲間たち。こういう人々たちを
1047名闘争を先頭にして

僕たち国鉄労働者がその先
頭に立ちますよ。6・5集会を
先頭にして僕たちは階級的なも
のを守り抜いて労働運動をこの
日から一からつくり直したんだ
と。その結果として今日がある
んだってね、勝利した時には言
いたいじゃないですか。そうい
う展望の持てる集会にしたいと
思っていますのでみなさんのご
協力を心からお願ひします。